

あいおいニッセイ同和損保
アイベツ損保
アクサ損保
アニコム損保
イーデザイン損保
AIG損保
エイチ・エス損保
SBI損保
au損保

共栄火災
さくら損保
ジェイアイ
セコム損保
セゾン自動車火災
ソニー損保
損保ジャパン日本興亜
大同火災
東京海上日動

トーア再保険
日新火災
日本地震
日立キャピタル損保
ペット&ファミリー損保
三井住友海上
三井ダイレクト損保
明治安田損保
楽天損保
レスキュー損保
会員会社(50音順)
2020年3月現在

SONPO

2020 大阪府版

車上ねらい

部品ねらい

自動車盗難

あなたの大切な
愛車が危ない!



一般社団法人 日本損害保険協会
<https://www.sonpo.or.jp>

損害保険に関することは、お気軽に次の窓口にご相談ください。

そんぽADRセンター (損害保険相談・紛争解決サポートセンター)

損害保険に関する一般的なご相談に対応するほか、保険業法に基づく指定紛争解決機関として、損害保険会社(注)とのトラブルが解決しない場合の苦情の受付や損害保険会社との間の紛争解決の支援業務等を行っています。

(注)当協会と手続実施基本契約を締結している保険会社に限りです。

(電話番号(通話料有料))



0570-022808

IP電話からは「そんぽADRセンター近畿」 **06-7634-2321**

(受付時間)月～金曜日(祝日・休日および12月30日～1月4日を除く)の
午前9時15分～午後5時

※損害保険のご加入、ご契約内容の変更や事故のご連絡は、直接、損害保険会社またはお取扱いの代理店へお願いいたします。

自動車
盗難防止
ガイド



SONPO

STOP THE
自動車盗難

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C010485

一般社団法人 日本損害保険協会 近畿支部
大阪府警察

2020.03.140000N

はじめに

大阪府内での刑法犯認知件数は、平成13年以降、年々減少し、令和元年にはピーク時の4分の1まで減少しています。

中でも「自動車盗難」「車上ねらい」「部品ねらい」の自動車に関連する犯罪の認知件数はピーク時の10分の1まで減少しています。

しかしながら、全国の認知件数と比較すると、大阪では依然として自動車に関連する犯罪が多発しており、また反社会的勢力が関与して活動資金を得ているケースもあることから、被害の防止に向けた更なる対策を推進する必要があります。

これらの犯罪を防ぐには、盗難対策を他人任せにするのではなく、自らの財産は自分で守るという意識を持ち、一人ひとりができることから対策を講じていくことが最も重要なことです。

みなさんが被害に遭わないように、そして大阪のくらしの安全と安心を守るために、本冊子がお役に立てば幸いです。

一般社団法人 日本損害保険協会 近畿支部



目次

p.01 大阪府の自動車盗難等の現状編

- 01 全国における大阪の現状
- 02 車上ねらい・部品ねらい発生状況
- 04 自動車盗難発生状況
- 05 ドロボーの犯行手口

p.06 自動車盗難等の防止対策編

- 06 自動車盗難防止対策チェックシート
- 07 イモビライザーの装着
- 08 自動車盗難防止機器の活用
- 09 ナンバープレート・カーナビの盗難防止対策
- 10 駐車場における防犯対策

p.12 資料編

- 12 自動車盗難等の被害に備える保険
- 13 自動車盗難等の防止に関する参考情報

全国における大阪の現状(令和元年中)

自動車盗難・車上ねらい・部品ねらい

自動車盗難		車上ねらい		部品ねらい	
都道府県	認知件数	都道府県	認知件数	都道府県	認知件数
茨城県	1,482	大阪府	4,879	大阪府	3,340
大阪府	952	埼玉県	3,022	東京都	1,667
千葉県	738	東京都	2,585	埼玉県	1,509
愛知県	681	愛知県	2,362	愛知県	1,315
埼玉県	630	千葉県	2,353	神奈川県	1,195

出典：大阪府警察

※車上ねらい～自動車等の積荷や車内の金品を窃取するもの。

※部品ねらい～自動車、船等に取り付けてある部品、付属品を窃取するもの。

大阪府内の自動車盗難認知件数は、前年より436件減少して952件で、全国ワースト2位となりました。

また、車両の積載物を盗む車上ねらいは4,879件、車両部品を盗む部品ねらいは3,340件と、いずれも全国最多となりました。さらに、部品ねらいによるナンバープレートの被害は、全国的に見ても多く発生しています。

大阪府の自動車盗難・車上ねらい・

部品ねらいの合計は**9,171件!!** (1日当たり約25件)

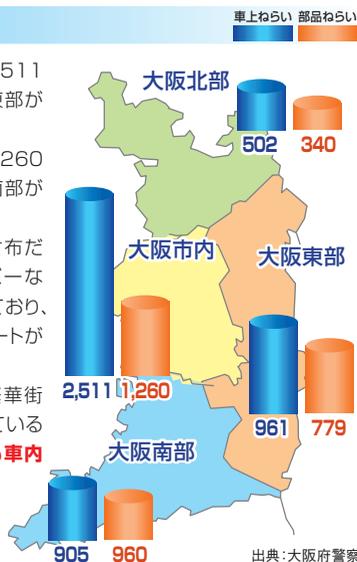


出典：大阪府警察

車上ねらい・部品ねらい発生状況(令和元年中)

地域別発生状況

車上ねらいは、大阪市内が2,511件で最も多く、次いで大阪東部が961件となっています。
 部品ねらいは、大阪市内が1,260件で最も多く、次いで大阪南部が960件となっています。
 車上ねらいでは、カバンや財布だけでなくインパクトドライバーなどの電動工具類もねらわれており、部品ねらいはナンバープレートが多く盗まれています。
 車上ねらい等は、住宅街、繁華街を問わず広い範囲で発生していることから、**短時間の駐車でも車内は「からっぽ」にしましょう。**



市区町村別発生状況

市区町村名	車上ねらい	部品ねらい	市区町村名	車上ねらい	部品ねらい	市区町村名	車上ねらい	部品ねらい
都島区	86	24	豊中市	120	88	太子町	2	3
福島区	51	25	池田市	31	14	河南町	4	0
此花区	44	20	吹田市	110	69	千早赤阪村	0	0
西区	134	50	高槻市	77	43	堺区	137	96
港区	56	33	茨木市	78	40	中区	55	58
大正区	66	47	箕面市	40	22	東区	23	29
天王寺区	100	45	摂津市	29	56	西区	74	53
浪速区	156	65	島本町	10	5	南区	45	61
西淀川区	63	38	豊能町	5	2	北区	83	47
東淀川区	112	74	能勢町	2	1	美原区	22	18
東成区	27	34	守口市	82	47	岸和田市	117	122
生野区	127	46	枚方市	72	87	泉大津市	43	55
旭区	52	35	八尾市	135	86	貝塚市	43	58
城東区	81	87	富田林市	22	24	泉佐野市	80	106
阿倍野区	58	32	寝屋川市	96	74	河内長野市	13	27
住吉区	148	83	松原市	73	68	和泉市	42	104
東住吉区	128	61	大東市	49	43	高石市	27	25
西成区	146	65	柏原市	9	18	泉南市	30	36
淀川区	150	59	羽曳野市	35	23	大阪狭山市	15	15
鶴見区	72	50	門真市	91	57	阪南市	17	12
住之江区	151	62	藤井寺市	15	15	忠岡町	11	4
平野区	104	97	東大阪市	257	189	熊取町	18	22
北区	164	75	四條畷市	12	17	田尻町	7	9
中央区	235	53	交野市	7	28	岬町	3	3

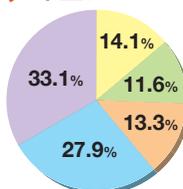
大阪市内：黄色、大阪北部：緑色、大阪東部：オレンジ色、大阪南部：青色

※「部品ねらい」については発生地不明が1件

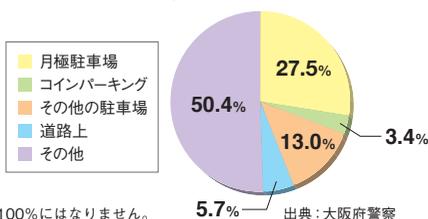
出典：大阪府警察

盗難発生場所別

▶ 車上ねらい



▶ 部品ねらい



※四捨五入の関係により合計100%にはなりません。

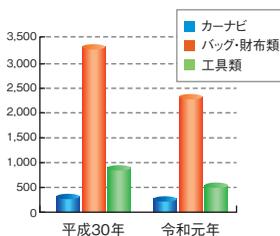
出典：大阪府警察

車上ねらいと部品ねらい被害の約4割が駐車場で発生しています。
 車上ねらいの被害では、**道路上での発生も多く、注意が必要です。**

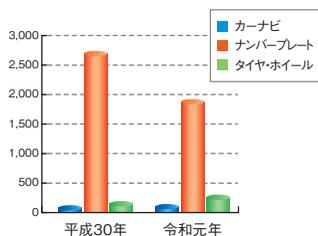
被害品の内訳(車上ねらい・部品ねらい)

車上ねらいでは、バッグ・財布類の盗難被害が最も多く、次いでインパクトドライバー・ドライバーセット等の工具類が多くなっています。
「車内はからっぽにする」、「盗難防止ネジを取り付ける」等の防犯対策が重要です。

▶ 被害品の内訳(車上ねらい)

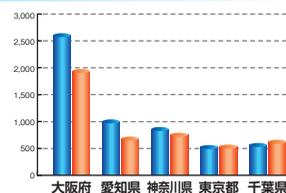


▶ 被害品の内訳(部品ねらい)



出典：大阪府警察

カーナビ・ナンバープレート盗難被害



カーナビ被害件数			
	平成30年	令和元年	前年対比
全国	686	459	-227
大阪府	144	114	-30
埼玉県	66	48	-18
愛知県	90	47	-43
千葉県	31	26	-5
兵庫県	30	20	-10

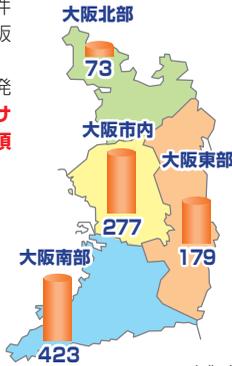
ナンバープレート被害件数			
	平成30年	令和元年	前年対比
全国	9,709	8,264	-1,445
大阪府	2,626	1,934	-692
愛知県	1,001	688	-313
神奈川県	856	774	-82
東京都	513	549	36
千葉県	589	636	47

カーナビ、ナンバープレートの盗難件数は、全国最多となっています。

自動車盗難発生状況(令和元年中)

地域別発生状況

自動車盗難は、大阪南部が423件で最も多く、次いで大阪市内、大阪東部となっています。自動車盗難の約7割が駐車場で発生しており、特に月極駐車場における被害が最も多いことから、日頃の防犯対策が重要となります。



出典:大阪府警察

自動車盗難発生時のカギの有無



出典:大阪府警察

エンジンキーを付けたまま(キーあり)で車を盗まれるケースは約2割ですが、一方、エンジンキーを抜いていた(キーなし)にもかかわらず盗まれているケースが約8割となっています。また、近年ではスマートキー等のコンピュータ防犯セキュリティを施していても、盗難に遭うケースもあります。盗難防止機器や防犯グッズを活用し、より効果的な防犯対策を行いましょう。

ドロボーの犯行手口

ドロボーは様々な手段で車内に侵入し、現金、バッグや工具類などを奪ったり、車そのものを盗んでいきます。

- 1 工具を使いドアを解錠し、ステアリングロックなどを工具で破壊して、車を盗み去る手口
- 2 ガラスを破壊し、侵入する手口



- 3 車体に隠してあるスペアキーをマグネット等で探し出す手口
- 4 家に侵入し、車の鍵を盗む手口



- 5 レッカー、けん引などで車を丸ごと盗み去る手口
- 6 鍵を預ける施設で本人に成りすまして鍵を受け取り、車を盗み去る手口





自動車盗難等防止対策チェックシート

様々な方法で車内に侵入し、自動車本体や車内に置いてあるカバンや財布、カーナビ等を盗みます。被害を防止するためには、次のような対策をとることが重要です。

 短時間でも車を離れるときは、必ず施錠し、窓を閉める

カギが付いたままの車は自動車盗難や車上ねらいを誘発します。コンビニや自動販売機を利用する「ちょっとの間」でも必ず施錠する習慣をつけましょう。

 車の中に貴重品、カバン、工具類、服を置かない

車の中にカバンや服、インパクトドライバーなどの電動工具類が置いてあるだけで、犯人に狙われます。車を離れるときは、短時間でも車内を「からっぽ」にしましょう。

 イモビライザーなど自動車盗難防止機器を活用する

偽造キー対策としてイモビライザーが効果的ですが、その他、ハンドル固定装置、電波遮断キーケース、警報装置や位置情報検索装置などを組み合わせて活用し、盗難防止効果を高めましょう。

▶ P.7、8

 ナンバープレート盗難防止ネジの装着

ナンバープレートのネジを盗難防止ネジに交換することでナンバープレートの盗難を防止することができます。▶ P.9

 カーナビ盗難防止ネジの装着

購入時にディーラー、販売店等で特殊な盗難防止ネジを装着することで盗難防止効果が高まります。▶ P.9

 見通しがよく、照明が明るい管理された駐車場を利用する

死角の多い駐車場ほど犯人に狙われます。見通しがよく、照明、防犯カメラの設置された駐車場を利用しましょう。

▶ P.10、11

イモビライザーの装着

通常のキーは、キーシリンダー内部と鍵山の形状が一致すれば、イグニッションスイッチをオンにして、エンジンを始動することができます。

これに対しイモビライザーは、専用キーに埋め込まれたトランスポンダ(送信機)の電子IDコードと車両本体内の電子制御装置に登録された電子IDコードが一致しないとエンジンは始動しません。そのため鍵の偽造が難しく、単に鍵山の形状が同一の複製キーを作っただけでは盗み出すことができません。

▶ イモビライザーシステムの仕組み

(自動車メーカーによる純正のイモビライザーシステムの場合)



※欧州では1997年1月からEU内に出荷される新車に対し、イモビライザーの装着が義務化されています。

カギの管理にご用心

イモビライザーは、自動車盗難対策に効果を発揮しますが、無意識に、補助キーやスペアキーを車検証、取り扱い説明書などと一緒に助手席の前のグローブボックス等に入れて、忘れてしまうことがあります。偽造されにくい鍵であっても、車内に置いたままでは意味がありません。車内に補助キーやスペアキーが置きっぱなしになっていないかを確認しましょう。



自動車盗難等防止機器の活用

イモビライザー以外にも様々な自動車盗難等防止機器があります。こうした機器を組み合わせることで、盗難防止の効果は高まります。

ハンドル固定装置・シフトレバーロック

ハンドル、シフトレバー、ブレーキなどを金属製のバーで物理的に固定して操作できないようにする装置です。外から見てもすぐ分かるので、視覚的にも防犯効果が期待できます。



ハンドルロック



ハンドルロック装着時

電波遮断キーケース

スマートキーから出ている微弱電波を遮断するアイテムです。スマートキーの特性を悪用して車を盗む「リレーアタック」への対策として有効です。



電話遮断キーケース

警報装置

ドアやガラスを破壊したり、車を強引に移動させようとする際の振動や不正なドアの開閉といった車の異常を感知し、警報を鳴らして犯人を威嚇するとともに、周囲に異常を知らせる装置です。



盗難警報装置
(ワンピスタイプ)

位置情報検索装置

車両にGPSなどを利用した小型発信機を装備することで、たとえ盗難に遭っても車の位置が特定できる装置です。警報系装置と連動するものや、リモコンで車の状態をモニターできるタイプもあります。また最新のものでは管理センターからの遠隔操作により、強制的にエンジンをストップできるものもあります。



ここだ!

ナンバープレート盗難防止対策

「部品ねらい」の被害で最も多いのがナンバープレートです。盗まれたナンバープレートは、犯人が警察の捜査から逃れるために、犯行時や逃走時に取り付け、別の犯罪に使用されます。また、ナンバープレートを盗まれると、再取得するために時間も費用もかかります。

ナンバープレートの盗難は、盗難防止ネジを装着することで簡単に防止できます。盗まれたナンバープレートが悪用されて新たな被害者を生み出さないためにも、防犯効果の高い盗難防止ネジを装着しましょう。



ナンバープレート盗難防止ネジ

カーナビ盗難防止対策

盗難被害のほとんどがダッシュボードに埋め込み式のカーナビです。犯人が窓ガラスを割って車内に侵入し、カーナビを取り外して外に出るまでわずか数分程度といわれています。カーナビ購入時にディーラーや販売店等で特殊な盗難防止ネジを装着することで盗難防止効果を高めることができます。

また、盗まれたカーナビが見つかったときに、それが所有者のものかどうか特定することが困難なケースが少なくありません。そんなとき、シリアルナンバーが重要な手掛かりとなりますので、カーナビ購入時にシリアルナンバーを控え、車とは別の場所に大切に保管しておきましょう。その他、セキュリティーロック付きのカーナビは盗難後の転売が困難となるため、抑止効果が期待できます。



カーナビ盗難被害に遭った車内



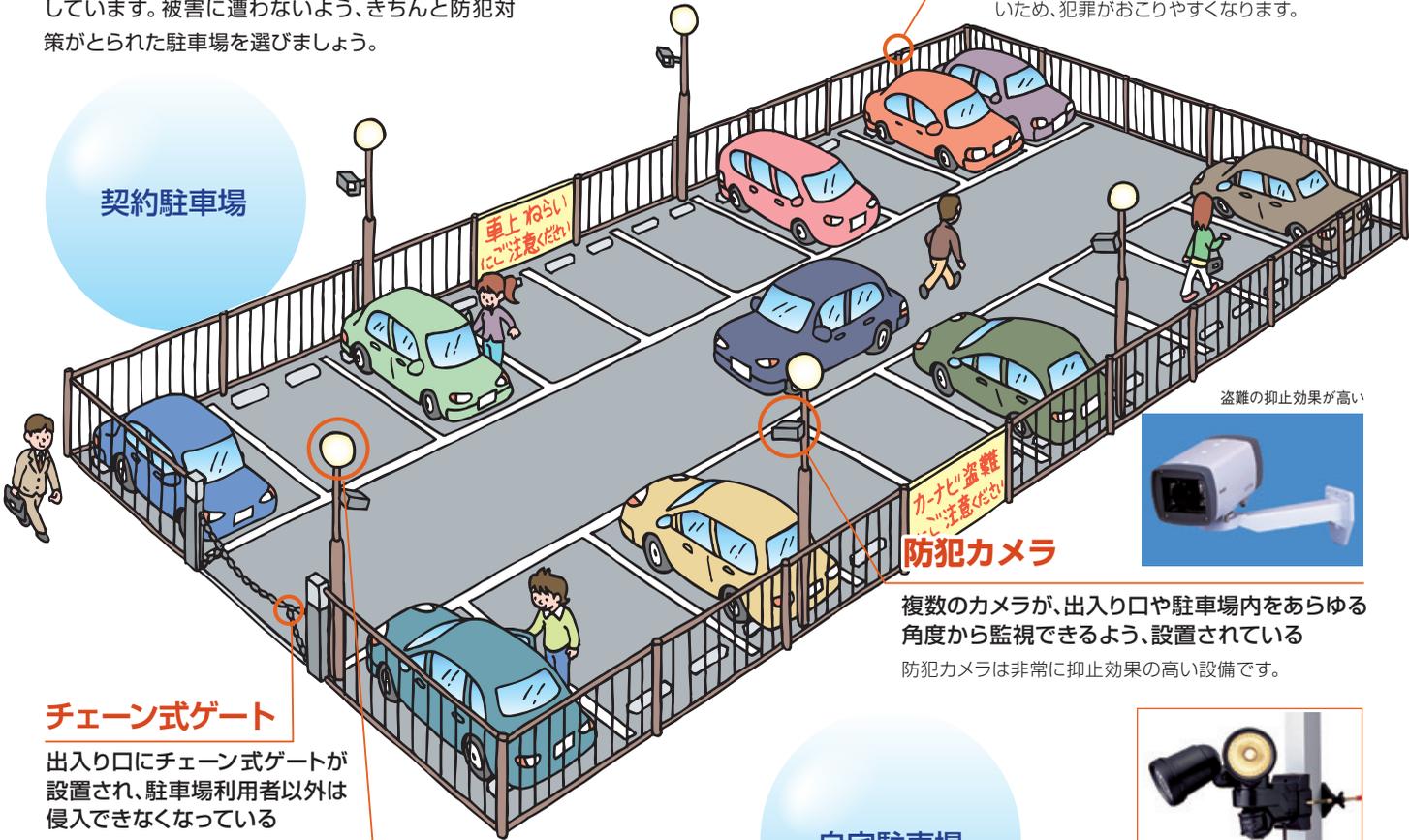
カーナビ盗難防止ネジ

駐車場における防犯対策



多くの自動車盗難や車上ねらい等は、駐車場で発生しています。被害に遭わないよう、きちんと防犯対策がとられた駐車場を選びましょう。

契約駐車場



チェーン式ゲート

出入り口にチェーン式ゲートが設置され、駐車場利用者以外は侵入できなくなっている

犯罪者の侵入を抑制するため、出入りの管理を行っていることが重要です。



チェーン式ゲート
関係者以外の進入禁止

照明

照明が数多く設置され、深夜でも明るい

駐車場に停めておいて被害に遭う時間帯は、暗くて人目のない深夜です。

見通しの良いフェンス

見通しの良いフェンスで囲まれているブロック塀で囲まれていると、外部から見えないため、犯罪がおこりやすくなります。

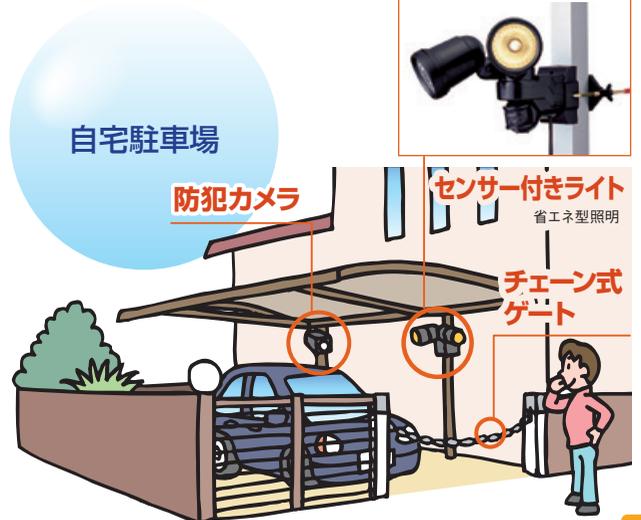
盗難の抑止効果が高い



防犯カメラ

複数のカメラが、出入り口や駐車場内をあらゆる角度から監視できるように、設置されている
防犯カメラは非常に抑止効果の高い設備です。

自宅駐車場



防犯カメラ

センサー付きライト
省エネ型照明

チェーン式ゲート

自動車盗難等の被害に備える保険

もしあなたが自動車盗難等の被害に遭ってしまった場合でも、車両保険に加入していれば損害の補償を受けることができます。

▶自動車盗難の被害に対する車両保険

車両保険では、主に次のような偶然な事故により車が損害を受けた場合に保険金が支払われます。

種類 補償の 種類 保険の	衝突・接触・転覆・物の落下				盗 難	火災・ 爆発	台風・ 洪水・ 高潮
	衝突 車同士の	単 独事 故	当 て逃 げ	いた すら			
一般の 車両保険	○	○	○	○	○	○	○
車両保険 (車対車+A) ※	○	×	×	○	○	○	○

※車両保険(車対車+A)は、車両保険の補償範囲を、他人の車との衝突や火災・盗難などに限定する特約を付帯した商品です。一般の車両保険より保険料が安くなりますが、その分補償範囲が限定されます。

▶車上ねらい等の被害に対する車両保険

車上ねらい等の被害に対しては、契約の条件や被害品の種類により保険金支払の対象となる場合があります。

保険の名称、補償範囲、保険料割引対象となる盗難防止装置などは、損害保険会社によって異なります。詳しくは損害保険代理店または損害保険会社にご相談ください。

自動車盗難等の防止に関する参考情報

大阪府警察

<https://www.police.pref.osaka.lg.jp>

大阪府警察のホームページには、大阪府内で発生しているさまざまな犯罪に関する情報が掲載されています。府内の自動車盗難等の実態および盗難防止対策が詳しくまとめられています。



日本損害保険協会

<https://www.sonpo.or.jp>

日本損害保険協会では、自動車盗難に関する調査資料・報告書等をホームページに掲載しています。この自動車盗難防止ガイド大阪府版(PDF)も含めホームページからダウンロードいただけます。



自動車盗難等の防止 に関する官民合同 プロジェクトチーム

<http://www.car-tounan-boushi.jp>

自動車の盗難及び盗難自動車の不正輸出を防止するための総合的な対策について検討を行うために、2001年9月に「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」(以下、「官民合同PT」とする)が設立されました。この官民合同PTは、警察庁、財務省、経済産業省、国土交通省の4省庁および19の民間団体で構成されています。官民合同PTのホームページには、自動車盗難の現状、盗難防止対策、防犯性能試験等に関する有益な情報が掲載されています。